

新風

平成27年8月27日
多治見市立陶都中学校
No.6

暑く、そして熱かった夏休みを終えて…

多治見市立陶都中学校 松山 央

夏休みが終わりました。多治見市にあっては4日間連続で最高気温を記録するなど、ことさら暑い夏となりましたが、この間、子ども達の大きな事故やけがもなく、無事に本日を迎えることが出来ました。中学生に関する痛ましい事件も耳にする中、先ずもって何よりのことと嬉しく思います。また、今年は夏休み中に三者懇談会を行いました。お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

さて、暑い暑い夏ですが、本校の夏休みも熱く燃え上がりました。先ずは、中体連。市大会の勢いにかけて東濃大会に臨みましたが、出場したどの部活も1回戦突破。そして、個人・団体を含めて合わせて7つの部活が県大会に進みました。さらに東海大会まで駒を進めたのが、陸上部、水泳部、サッカー部、女子テニス部。そして、部活はないのですが柔道も進出。



さらに陸上部の2名は、札幌市で開催された全国中学総体にも出場しました。正に昨年度にも増して勢いのある戦いぶりでした。吹奏楽部は、今年度新たな挑戦としてB編制の部で地区大会コンクールに臨みましたが、見事金賞を獲得し県に進出しました。例年の大編成でも県大会では銀賞という成績でした。また、19日にあった英語スピーチコンクール地区大会に、5名の生徒が出場しましたが、その中の一人の3年生が、特別賞を受賞しました。本人の意欲と努力をしっかりと認めていただけた賞として、大変嬉しく感じました。

こうして、中学校生活の大きな節目の一つを今年度も無事に、そして感動的に終えることができました。特に3年生にとっては、どのような締めくくりができるのか注目されるどころでしたが、総じて次の後輩達が目標としたくなるような姿を、身をもって示してくれました。この勢いに自信と誇りをもって、明日からの学校生活にまた邁進してほしいものです。私自身は、そうした生徒の締めくくりの場面に少しでも立ち会いたいと応援に出向かせてもらいましたが、校内だけでは見ることのできない素敵な動きや表情を改めて目にすることができました。折に触れ、本人達にも感想を伝えていけたらと思っています。また、各会場で保護者の方と直接お話ができたり、お世話になっているクラブ指導者の方とご挨拶できたりしたことは、昨年同様私にとって大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。

なお、夏休み中には、こうした競技会関係ばかりではなく、陶都中生としてあちこちで活躍してくれた面々の存在もありました。多治見市連合生徒会における生徒会執行部による実践発表と意見交流。有志による校区の商店街や児童館での夏まつりのボランティア活動。さらに、8月10日に開催された情報モラルワークショップでは、2年生の3人のメンバーが参加し、高校生や他の中学生と共に情報モラルについて勉強会を行いました。どの活動も、普段の仲間とは違った年齢や立場の人達との交流があり、大きな刺激になったことと思われまふ。

さあ、学校生活の再開です。様々な経験を積んで夏休み前よりも少し逞しくなった566名が、今度は学校という舞台に戻ります。一人一人の成長の最も望まれる時期に向け、私達職員一同も心を新たにしております。今後とも、どうかよろしくお願い致します。

「怒らずに叱る」

多治見市教育委員会



子どもが親（家族）と約束したことや、心優しい行いやお手伝いをしている姿などを、認め・励ますことはできていますか。子どもは、親（家族）に自分の良さを認められると、自信をもったり、自分は大切な存在であると感じたりすることにもつながります。

さて、子どもが命（けがなども含めて）にかかわる危険なことや、他人に迷惑をかけようとする、または、してしまった時には、その時やその場所で「叱って」、「なぜしてはいけないのか」を理解させておくことが必要です。

思わず感情的に「怒って」しまい、なぜしてはいけないのかが子どもにうまく伝わらないことがあります。その心配がある時は、少し時間を空けることも良いのかもしれない。

一度、日頃の子どもの叱り方を振り返ってみましょう。